

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2014年 6月30日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 宝塚市高司4-6-40

氏 名 プライムデリカ株式会社

宝塚工場長 花牟礼 章

電話番号 0797-78-0711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プライムデリカ株式会社 宝塚工場
事業場の所在地	宝塚市高司4-6-40
計画期間	2014年3月1日から2015年2月28日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0999 他に分類されない食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額89億円 (2013年度実績)
③従業員数	900人 2014年5月時点
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 ( 2013 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	排 出 量	2200 t	4 t
	(これまでに実施した取組) 不良品量の削減を呼びかけている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	排 出 量	2000 t	4 t
	(今後実施する予定の取組) 有価売却出来る物の分別を徹底し廃棄物発生量を削減する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所を分け、各部署からの廃棄物を分別して保管		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程事の分別用ボックスを設置し、発生時点での分別を勧める		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2013 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2013 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2013 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2013 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	2200 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2200 t	4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	2000 t	4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2000 t	4 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 1 会社概要

## 1) 会社名

プライムデリカ株式会社

## 2) 資本金

6億円

## 3) 社員

378名

# 2 当工場事業の概要

## 1) 従業員数

900名(パート従業員)

## 2) 製品出荷額

89億円/年

## 3) 製造概要

コンビニエンスストア用調理パン・惣菜等の製造  
年間4000万食～5000万食

## 4) 製造・排水処理設備・廃棄物フローシート 別紙

## 5) 工場配置図

別紙

## 6) 連絡先

担当者 宮本 覚  
プライムデリカ(株)宝塚工場仕入課  
TEL 0797-78-0711

## 7) 産業廃棄物管理体制

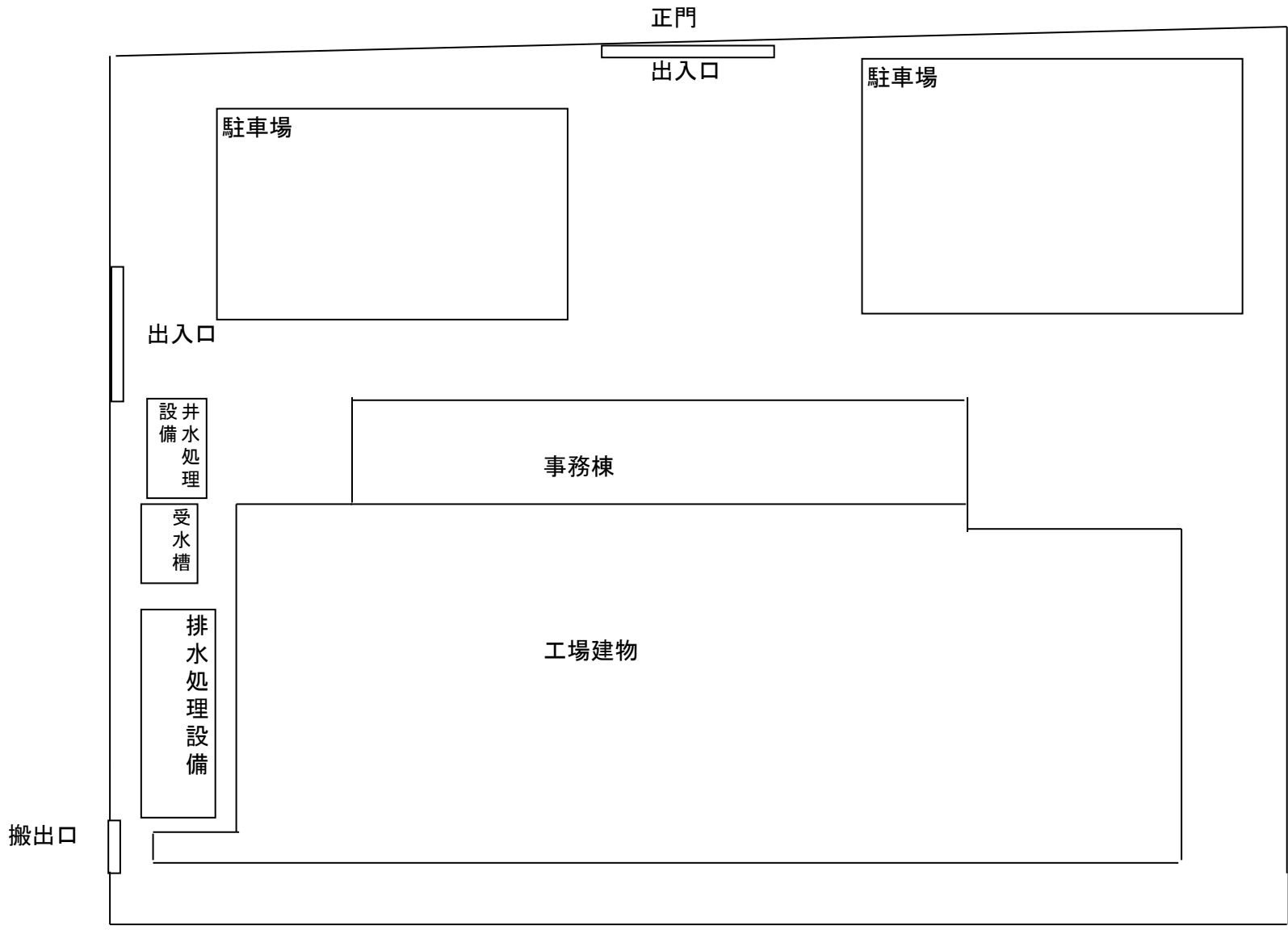
別紙

## 8) 廃棄物の処理に関する事項

別紙

到達番号 : 137\_230\_2  
問合せ番号 : 85\_5667  
号 : pBLrhG

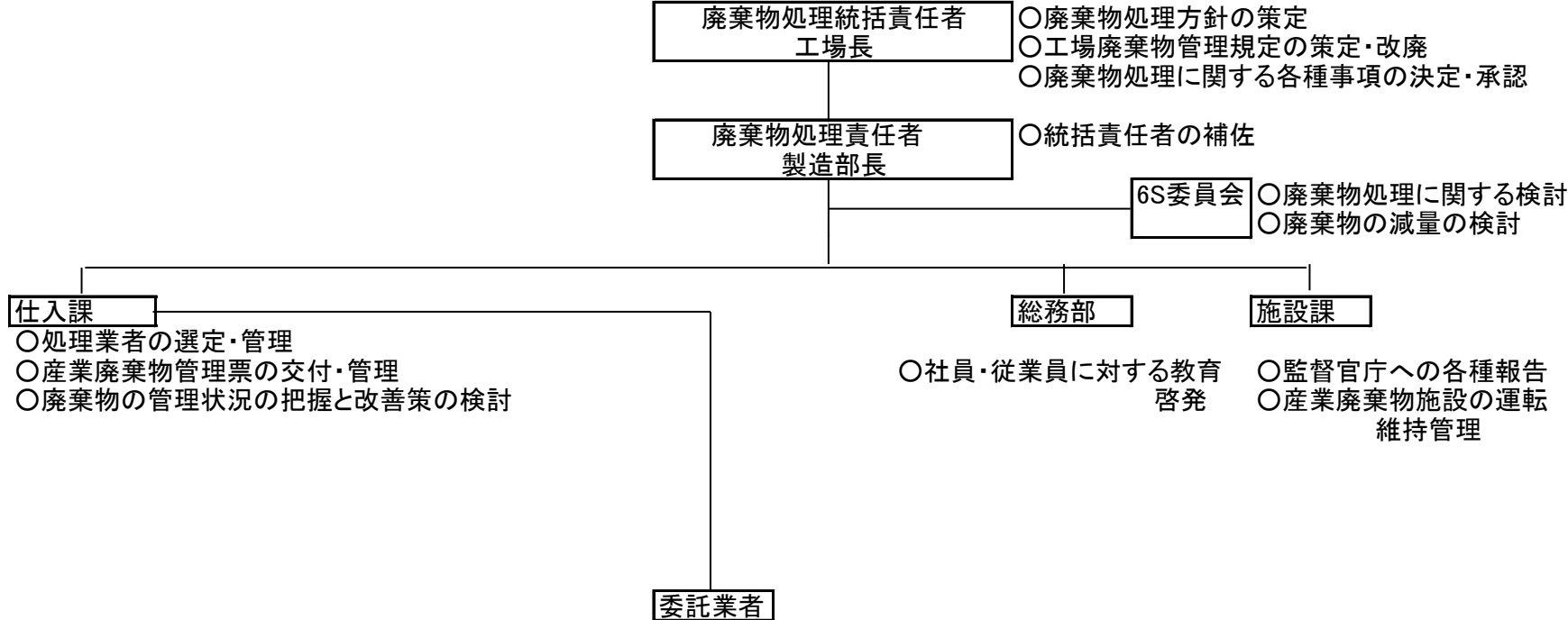




工場配置図

# 廃棄物管理組織・役割

宝塚工場



# 廃棄物の処理に関する事項

宝塚工場

## 1・基本事項

- 1)産業廃棄物の適正処理を確保するため関連する法令・その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
- 2)発生した産業廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。
- 3)最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標を定め実施する。又これら処理に関する目標及び計画は定期的に必要な見直しを行う。
- 4)廃棄物の処理について次の事項の実施を推進する。

### 発生の抑制

- 工程内リサイクルを推進
- 発生抑制を考慮した製造方法を検討する。

### 再生利用

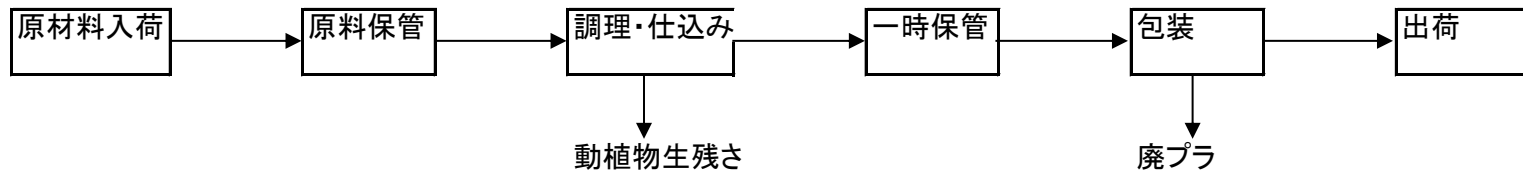
- 燃料利用・資源化を推進
- 再生利用ルート確保

### 中間処理

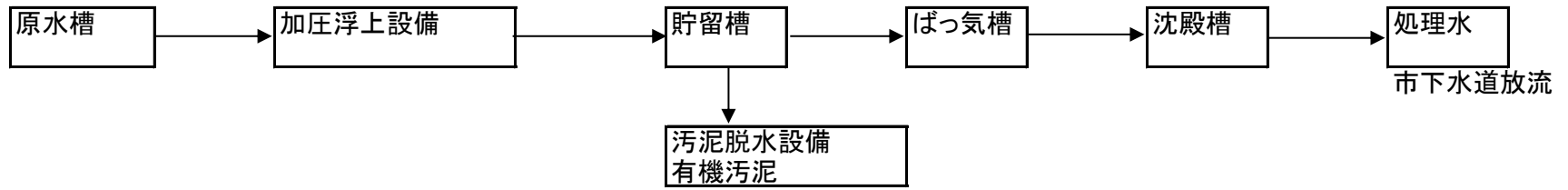
- 脱水効率の向上による中間処理を推進。

惣菜・サンドイッチ製造フローシート

宝塚工場



排水処理フローシート



廃棄物処理フローシート

  委託処分

